

東急自動車学校が竣工

施工＝東急建設

都内最大級の施設規模

東急自動車学校が多摩市唐木田で整備を進めていた東急自動車学校新築工事の竣工式が11月30日に現地で行われた。設計は、東急設計コンサルタント、施工は東急建設が担当。約3万500



0平方メートルの敷地に4輪車練習用のコースだけでなく2輪車練習用コースも持ち、都内最大級の自動車学校となる。写真、神事では、山口裕啓五島育英会理事長、白石明東急自動車学校校長、下永田洋東急設計コンサルタント取締役社長、市川正美東急建設代表取締役社長の順で玉串を捧げた。

その後に行われた直会では、白石校長が「学ぶ場所としての快適性および過ぐる場所としての心地よさのモットーにふさわしい学校を皆様に作っていただき、関係者の皆様に感謝させていただきます。新しい学校に東急自動車学校の55年の伝統を伝えたい」と挨拶。次に下永田東急設計コンサルタント社長が「新しい学校は、外部は都会的でおしゃれ、内部は時間を楽しく有効に過ごせるように工夫をして、素晴らしい建物にデザインしました。またLED照明を採用するなど環境に良い省エネ対策にも配慮し、学ぶ場所にもふさわしい施設に設計した」と述べた。

最後に市川東急建設社長は「限られた工期の中で、土木工事と施設の建築工事を同時に行わなければならないなど、きびしい条件の中で工事が進められたが、無事故で無事完了できたことに対して、関係者にこの場を借りてお礼を述べたい」と語った。

完成した東急自動車学校は、敷地面積は3万5476・87平方メートル。規模はS造地下1階地上3階建て延べ4855・66平方メートル。開校は12月10日を予定している。

無断転載禁止 ・ 著作権は日刊建設産業新聞社に帰属します
転載承認済み